

水文・水資源学会創立30周年記念シンポジウム  
“水文・水資源分野における学・官・民の連携の将来像（発言要旨）”

グローバルウォータ・ジャパン吉村です。最初に皆様にお願ひがあります。

今日のテーマは「水文・水資源分野における学・官・民の連携の将来像」ということですが

私は1996年から2001年 NY 同時多発テロまで NY の国連本部に勤務しておりました。2000年に国連本部で開催された「国連ミレニアムサミット」にも本会議場で参加しました。この時採択されたミレニアム開発目標（MDGs）は8項目で、先進国が途上国を支援する内容でした。2015年に国連は、MDGsの継承として皆さんご存知のように、持続可能な開発目標2030アジェンダ（SDGs, Sustainable Development Goals）17目標（ゴール）が掲げられました。今度はすべての国、すべての関係者が参画し、2030年までに実行する内容となっています。

そこで私の皆様への願ひは、この「世界を救う、SDGsの17目標をすべて達成する緑の下の方持ちは、すべて水である」とあらゆる場で主張（強調）していただきたいということです。

目標1 貧困の撲滅、飢餓（ハンガー）、教育、ジェンダー、目標6は水とトイレです。エネルギー、経済成長、平和まですべて水問題を解決すれば、SDGsの達成が可能です。

「水問題を解決することが、世界が求めるSDGs 17項目を達成できるカギである」とあらゆる場で主張してください」 どんどん水増しで願ひいたします、



（撮影 秋山礼子氏）